

J A 広島総合病院

【救急・集中治療科】

【診療科の紹介】

平成 30 年度、当科は、表 1 に示すように総勢 8 名で救急・集中治療の診療行為を施行しました。また当院は日本救急医学会認定救急専門医研修施設、および日本呼吸療法医学会専門医研修施設です。

表 1) 救急・集中治療科メンバー

氏名 (卒年)	役職	資格	専門分野
吉田 研一 (昭 59 年卒業)	地域救命救急センター長 救急・集中治療科主任部長	医学博士 日本救急医学会専門医 臨床教授 (広島大学 救急医学)	集中治療・救急医療
加藤 之紀 (平 19 年卒業)	部長	日本救急医学会専門医	集中治療・救急医療
櫻谷 正明 (平 19 年卒業)	部長	公衆衛生学修士 日本救急医学会専門医 日本呼吸療法医学会専門医	集中治療
河村 夏生 (平 22 年卒業)	副部長	日本救急医学会専門医	集中治療・救急医療
高場 章宏 (平 23 年卒業)	医員	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医	集中治療・救急医療
山本 高嗣 (平 29 年卒業)	医員		集中治療・救急医療
堂埜 恵理 (平 29 年卒業)	専攻医		救急医療
岩本 桂 (平 29 年卒業)	専攻医		救急医療

当院では、平成 23 年 4 月から地域救命救急センターが開設されました。広島西部地区 (広島市佐伯区、廿日市市、大竹市など) の人口 30 万人弱の医療圏の救急患者の受け入れを行っております。救急搬送患者数は徐々に増加しており、平成 30 年度は約 4200 台の救急車を受け入れました。日中夜間を問わず救急患者の初療に関わっており、集中治療管理、病棟での入院診療も行っております。

【診療実績】

平成 26 年度

年間救急搬送患者数 3318 台

年間救急来院患者数 5379 人

平成 26 年度の年間重篤患者数を表 2 に示します。

J A 広島総合病院

表 2) 救急・集中治療科実績 (厚生労働省報告)

(人)

番号	疾病名	患者数	退院・転院	死亡
1	病院外心停止	148	4	144
2	重症急性冠症候群	89	77	12
3	重症大動脈疾患	24	20	4
4	重症脳血管疾患	122	69	53
5	重症外傷	87	78	9
6	重症熱傷	2	2	0
7	重症急性中毒	27	27	0
8	重症消化管出血	62	59	3
9	重症敗血症	33	22	11
10	重症体温異常	8	7	1
11	特殊感染症	2	2	0
12	重症呼吸不全	55	32	23
13	重症急性心不全	67	53	14
14	重症出血性ショック	7	4	3
15	重症意識障害	22	20	2
16	重篤な肝不全	6	1	5
17	重篤な急性腎不全	17	14	3
18	その他の重症病態	6	4	2
合計		784	495	289

※上記のなかには敗血症、横紋筋融解症、各種ショックなど含まれない疾患もあります。

【教育活動・研究活動】

① ジャーナルクラブ

臨床上の疑問は二次資料で解決できることも多いですが、一次資料である文献をフォローすることも重要です。市中病院でも可能な範囲で知識をアップデートできるよう全員で分担して、ジャーナルクラブを行っております。

② JIPAD (Japanese Intensive care Patient Database)

集中治療の歴史は浅く、まだまだ国民に広く認知されることなく、様々な形態の施設が乱立している状況です。JIPAD はわが国における集中治療の実態をあきらかにするため

J A 広島総合病院

のデータベースです。今後ますます高齢化するわが国において、よりよい治療を国民に提供するためにも本事業は意義あるものと考えております。当院もこのデータベースに参加し診療の標準化を図っております。

③ その他の多施設研究への参加

市中病院ですので、基礎研究はなかなか難しいのですが、集中治療領域の臨床研究にはいくつか参加しております。代表的なものとしては、WEAN-SAFE study（人工呼吸器離脱を調査する世界規模の多施設観察研究）、DAIANA（ICU での抗菌薬投与を検討した国際多施設観察研究）、国際栄養サーベイランス（ICU 患者の栄養投与量を調査した国際多施設研究）、After-ICU study（日本国内の ICU で新規発症した心房細動患者を検討した観察研究）、SANADA study（日本国内の急性膵炎患者の多施設観察研究）、SAVE-J II study（日本国内での ECPR の過去起点コホート研究）、AMOR-VENOUS study（ICU での血管デバイスのコホート研究）などがあります。